



2018年9月27日

各位

会社名 株式会社 タケエィ
代表者名 代表取締役社長 山口 仁司
(コード: 2151 東証第1部)
問合せ先 取締役常務執行役員 阿部 光男
(TEL 03-6361-6871)

当社子会社(富士車輛株)によるプレスリリースについて

本日、当社の子会社である富士車輛株式会社(以下、「富士車輛」)が下記のプレスリリースを発表しましたので、お知らせいたします。

当社は富士車輛からの報告を受け、今回の事態を真摯に受け止め、改めて深くお詫び申し上げます。投資家をはじめとするステークホルダーの皆様からの信頼回復に向けて全力を尽くす所存でございますので、引き続きご支援賜りたくお願い申し上げます。

なお、業績に与える影響につきましては、富士車輛において、補修に必要な部材を選定し、その調達に要する費用を含む補修工事全体の費用を見積もっているところであり、その内容が確定次第速やかに開示を致します。

記

「機械式立体駐車場の不備・不具合に関する点検結果について」

以上

2018年9月27日

各位

会社名	富士車輛株式会社	
代表者名	代表取締役社長	鳥居 周
問合せ先	企画管理本部長	蔭山 庄二郎
電話番号	077-582-8730	
フリーダイヤル	0120-926-820	

機械式立体駐車場の不備・不具合に関する点検結果について

当社は、本年7月30日付で、「富士車輛製機械式立体駐車場の所有者、並びに管理者の方へ」を公表いたしました。本件は、当社が2001年までに販売した機械式立体駐車場について、車両乗入口部の横行レールの支持金物の溶接部に亀裂が生じているとの報告をきっかけに、当社において、機械式立体駐車場全てについて点検を行い、必要な補修工事を実施するというものです。この度、全件点検が終了したため、その点検の結果、及び今後の補修工事の予定につきまして下記の通りお知らせ致します。

なお、お客さまに大変ご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。このような事態が生じたことを重く受け止めており、今後、全社を挙げて、再発の防止に努めてまいります。

記

1. 「全件点検」及び補修の実施について

(1) 点検及び補修方法策定に際する基本方針及び検討体制

点検の実施及び補修方法の検討に際する基本方針として、人命尊重の観点から重大な事故の発生を是非とも防がなければならないという安全確保を第一に据え、緊急性の高い補修を速やかに行い、続いて、部材の見直しを図ることで安全確保に万全を期すことを目指します。

検討体制と致しましては、当社内に、社長をトップとする「立駐対策プロジェクト」を設置し、点検および補修を行うチームを配置した上で9月までに点検を終え、今後の補修スケジュールを策定しました。また、客観的かつ中立的見地から補修方法の適格性を確保するため、専門性を有する第三者に技術的助言をお願いすべく、公益社団法人立体駐車場工業会等より、指導および助言を受ける体制としました。その下で、248件の全ての機械式立体駐車場に対して点検を実施することとし、補修方法を検討しました。

(2) 点検結果について

全件について点検を行ったところ、20件について横行レール支持金物の溶接部に亀裂が発生していることが判明し、70件について横行レール支持金物の構造が溶接部に亀裂が発生しているものと同じであることが確認されました。また、機械式立体駐車場には、当初設計を変更して落下防止装置を取り付けていないものがあったり、設計とは異なる吊り上げローラーチェーンが使用されていたり等することが判明しました。不備・不具合については経年劣化など様々な要因がありますが、当社では、安全確保を第一に据えるという観点から、本件につ

いて補修工事を行います。

(3) 補修スケジュールについて

9月までに判明した、緊急に補修することが必要と判断される横行レール支持金物の溶接部の亀裂補修については10月までに補修を完了し、更に、万一にも重大事故が発生しないようにするため、同支持金物の構造が溶接部に亀裂が発生しているものと同じである物件の補修と落下防止装置の取付けを実施することとしており、これらの工事については2019年3月までに完了する予定です。また、今回の点検の結果からすると、溶接部の亀裂補修を完了すれば、現時点では、近々に重大事故に繋がるような不備・不具合はなく、かつ、落下防止装置の取付けにより、予想外の事態が生じた場合も、重大事故に繋がることは回避できます。そのうえで、ローラーチェーンをより強度の強いものに取り替える工事などを来年度末までに実施して、安全確保に万全を期する計画と致しました。

	2018年					2019年			来年度	
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
点検	■	■								
溶接部亀裂物件 リブ取付け	■	■	■							
亀裂物件と同構造の 物件 リブ取付け			■	■	■	■	■	■		
落下防止装置取付け			■	■	■	■	■	■		
それ以外の補修			*	■	■	■	■	■	■	■

※原則として来年度の施工となりますが、工事を迅速に進めるために上記優先工事と同時進行となる場合があります。

(4) 補修工事に要する費用について

補修工事に必要な部材を選定し、その調達に要する費用を含む補修工事費用について見積もるため、調達先業者等と折衝するなどの作業を行っております。補修工事費用の見積もりにつきましては、その内容が確定次第開示致します。

以上